

褥瘡ケアの
「常識」「非常識」クイズ
【治癒過程編】

監修 大山 瞳

株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院

在宅医療推進センター 訪問看護係 主任

訪問看護ステーションかけはし 管理者

皮膚・排泄ケア認定看護師

<Q1>

骨突出部に発赤がある場合、傷は無くても褥瘡を疑う必要がある。

⇒ YES NO

<Q2>

褥瘡は皮膚に生じる症状のため、処方された薬を塗っておけば良くなる。

⇒ YES NO

<Q3>

健康な皮膚づくりには日光が欠かせない。褥瘡部位は日光浴が効果的である。

⇒ YES NO

<Q4>

創部をドライヤーで乾かしても早く治ることはない。

⇒ YES NO

<Q5>

褥瘡部には多くの細菌が付いているので、創感染を防ぐため薬剤で消毒し、ガーゼを当てる。

⇒ YES NO

<Q6>

褥瘡は清潔に保つことが大切なので、綿の滅菌ガーゼを当てる。

⇒ YES NO

<Q7>

褥瘡は清潔に保つことが大切なので、ガーゼを当てガーゼ周囲をテープで圧迫して固定したほうが良い。

⇒ YES NO

<Q8>

創部を石鹼洗淨すると悪化するので石鹼の使用は避け、生理食塩水を用いる。

⇒ YES NO

<Q9>

在宅で寝たきりの方の骨突出部に擦り傷が発生したので、看護者、介護者の判断で家族に市販の皮膚保護材を購入してもらい、患部に貼付した。

⇒ YES NO

<Q10>

褥瘡が癒した部分は皮膚が弱くなっているため再発に注意が必要である。

⇒ YES NO

<Q11>

褥瘡がある方の体位変換時は、褥瘡部分は触らないように褥瘡から遠い部位を支える。

⇒ YES NO